

高橋ちづ子 衆院議員 ふなやま由美 比例東北ブロック候補

# 新春対談 東北の「願い」を国会へ

## 総選挙で共産党躍進を、市民と野党の共闘で安倍政権退場!

「東北の命綱」として6期17年、国会で活躍してきた高橋ちづ子衆院議員と比例東北ブロックから2議席目に挑戦するふなやま由美比例候補の2人が2020年を語り合いました。

**高橋ちづ子** あけましておめでとございます。

**ふなやま由美** おめでとございます。

### 安倍政権退場の年に

**高橋** 昨年は、統一地方選挙と参院選挙の年でした。その真つ

最後に台風災害があり、国民のいのちと財産を守るために私たちが何をしなければならぬのか、鋭く問われた年でした。

その一方で安倍総理が深くかわる「桜を見る会」が大きな話題になりました。参院選では

前になりました。

市民と野党共闘の大きな財産を、次は総選挙でいかしていく。日本共産党の議席を比例で思いきり伸ばして、安倍政権に退場を迫る年にしたいと思います。

**ふなやま** 今年こそ、安倍政権を終わらせる年に行きたいと思

ます。「桜を見る会」問題で日本共産党の活躍と、「野党共闘」の前進に感動しています。地方

では、台風被害と消費税増税で、多くの方が苦しんでいます。希望を持って暮らせる日本を作るため、東北で比例2議席実現に全力で頑張っていく決意です。

### 一人ひとりに寄り添った支援を

**高橋** 厳しい冬を迎えるにあたってどんなに心細い思いをしているかなと、一人ひとりに寄り添った支援が本当に必要だと思います。

昨年の山形県鶴岡市の地震で



は、瓦屋根に大きな被害が出ました。国会で申し入れをし、自治体が瓦を対象とするリフォーム制度等をつくらば交付金が出るようになるようになりました。それが干

葉の台風被害で生き、その後一部損壊でも30万円が出るようになりました。

岩手県の三陸鉄道が台風で復旧の見通しが立たない問題では国交省に迫って「半分までは国がお金を出す」ことが決まり、鉄道側も復旧を決めたのはよかったです。

宮城県の台風被災地を歩き、「河川改修を国に何度も訴えて来た」という地元の声が国に届き「しっかりと受け止めて生かす」という国交大臣の答弁を引き出せました。

福島県いわき市では、何もないうから避難所から出られないという人がたくさんいました。冷蔵庫や電子レンジ、洗濯機などの家電が災害救助法の支給の対

象になっていないからです。これは必ず改善していきたいと思

います。  
**ふなやま** 私の故郷の丸森町は、町の中心部が冠水。孤立集落も多数生まれ、私の実家も1m60cmの浸水でした。

避難所の体育館は当初ダンボールベットもなく、床にゴザを引いただけの状態でした。

農業被害も深刻で、高橋議員が農水省に迫り、農業被害を「国が半分見る」という枠組みができました。さらに宮城県議会で

金田基康議取り上げ、「残り4割を県が見る」という画期的な成果が生まれました。

そんな中、丸森町議選が実現しました。山本明徳さんが決意をされて、軽トラックで町内を限なく回り、支援情報を手渡し、被災者を励まして来ました。8年ぶりの共産党議員誕生に喜び

### 「原発ゼロ」11万筆の思い

**ふなやま** 被災した女川原発は再稼働せず廃炉にすべきです。宮城県内では11万筆を超える

方々が県民投票実現を求めて署名をしました。県議会では自民公明が否決、廃案になりましたが、原発をなくして欲しいという思いまで、消されたわけではありません。全ての原発を廃炉にするためみなさんと力を合わせて頑張っていきたいと思っています。



避難所で被災者から要望を聞く高橋ちづ子衆院議員、ふなやま由美比例候補=11月1日、宮城県丸森町

**高橋** 青森の核燃施設の最終処分場問題や宮城の稲わら焼却処分など、どこでも反対運動が起

こつています。日本のどこでも二度と福島の方々の苦しみを繰り返してはいけません。原発に依存せざるを得なかった立地

地域の人が、一歩を踏み出すために「国が責任を持つ」というのが「原発ゼロ法案」。この実現に力を合わせていきたいと思

っています。  
地球温暖化の問題では、COP25で16歳のグレタさんから、若い人達が声をあげ「あと1度上

がれば大変なことになり、4度で臨界点」という話をしている時に、日本は、温室効果ガスの削減目標を検討すらしなかったし、石炭火力の廃止どころか、さらに国内での新設推進、海外への輸出まで進めようとしています。再生可能エネルギーを進めると同時に経済活動を規制していくという資本主義のあり方を見直すべきだと思います。

衆院比例 850万票・15%以上、東北ブロック比例 60万票・15%以上必ず

比例代表は「日本共産党」と政党名で

選挙区は「候補者名で」比例代表は政党名を書きます、個人名では無効になります。

選挙制度紹介 (記載例)



# 東北の命と暮らしを守って全力!



## 紙 智子



参議院議員「比例代表」

新年おめでとうございます。昨年の連続した選挙での奮闘に、ここから敬意を表します。今年は党大会の年です。参議院選挙での東北の野党共闘の勝利は、安倍政権に衝撃を与え、全国に確信を与えました。臨時国会を経て、さらに進化した野党共闘の力で新しい連合政権への道を開きましょう。

森友・加計問題に続き、「桜を見る会」の疑惑が発覚しました。安倍政権の政治の私物化、モラル破壊を許しません。「逃げ切りは許さない」の世論を高め、追い詰めましょう。

「TPP・日米貿易協定など、歯止めなき輸入自由化路線」を中止し、経済主権が尊重される道に！福島切り捨てを許さず！イージス・アショアは配備阻止！農業と地域経済、公的病院を守りましょう。

党大会では激動する世界の中で、未来に展望を示す綱領を改訂します。社会変革の大波を作り出すために私も頑張ります。



質問する紙智子参院議員=11月20日、参院本会議



台風19号被害対策について質問するいわぶち友参院議員=10月16日、参院予算委員会

## いわぶち友

参議院議員「比例代表」

今年の臨時国会では、「桜を見る会」での追及、大学入試への英語民間試験導入延期、4国会連続で憲法審査会での自民党改憲案提示を見送りに迫り込むなど、市民と野党の共闘が安倍政権を追いつめています。日本共産党国会議員団の追及としんぶん赤旗の取材力が力を発揮しています。そのなかで野党間の信頼が高まり、共闘が発展していることを実感しています。

来るべき総選挙での東北2議席の実現で日本共産党を大きく伸ばし、さらなる共闘の前進で安倍政治を終わらせ、野党の新しい政権を実現するため、多くの方々と力をあわせませす。

昨年は、予算委員会ですべて質問に立ち、台風・豪雨被害に関わり安倍首相に直接対応を迫りました。引き続き、みなさんの声をまっすぐ国政へ届けるために力を尽くす決意です。

## 東北の命を守るため力あわせ

**高橋** 「年金が少なくて暮らしていけない」。息子が過労死するほど働いている」という方が大変多い。「減らない年金、暮らせる年金」これを実現させたいと思います。

厚生省が公的病院再編統合の対象病院名を公表した事が大問題になっています。医師不足でやむなく病棟を閉鎖しているような状態なのに、機械的なデータで、再編・統合を迫っています。地域医療を守るためにも、東北の皆さんと力を合わせてはね返していきたいと思っています。

**ふなやま** 保健師をしていた経験から、憲法25条で保障された人間らしく生きる権利が次々と壊されていくことに憤りを感じています。介護保険の改悪で要介護1、2まで対象から外す、窓口負担を75歳以上の後期高齢者の方々に2割に増やすくわだてなど、どこまで苦しめれば気が済むのか。東北が輝いて暮らせるよう農業の再建へ担い手を守ることも重要だと思っています。



高松本宮市長から要望を聞く高橋ちづ子衆院議員、いわぶち友参院議員、ふなやま由美比例候補=12月12日、福島県本宮市

## 市民運動のうねり

**ふなやま** 国政へ出ようと決意したのは「戦争する国づくりへ突き進む安倍政権を終わらせたい」と思ったからです。草の根で粘り強く9条を守る運動を続けているみなさんや、核廃絶のアピール署名を取り組んでいるみなさん。幅広い国民の運動が安倍政権を追い詰めています。宮城で始まった「首長9条の会」が東北6県へ広がり、昨年「全国首長9条の会」に発展したことも確信を持っています。

**高橋** 昨年の秋田のイージス・アショアの配備計画反対運動は特筆すべき事です。候補地の新屋演習場は学校も近く、1万3000人が住む住宅地です。16町内会が決議を上げるなど、大きな運動になっています。事実上配備は断念せざるを得ないと思っています。

また六ヶ所村の米軍F16戦闘機の模擬弾落下事件。F16の速度でいうと1秒の違いで小学校に落下していたかもしれない。それだけ深刻な問題です。それに対して安全対策をどう考えているのかと質問書を政府に突きつけたら「配慮しています」という答えです。配慮なんか出来るはずない、飛ばないこと以外に選択肢はない。沖縄とも連帯し地位協定の見直しを求めて行きたいと思っています。

## 市民と野党の共闘を力に

**高橋** 英語の民間試験や記述



イージスアショア現地調査で市民から要望を聞く高橋ちづ子衆院議員=2月21日、秋田市

式の問題では、高校生自身も声を上げ、野党共闘の集会やピアリングを重ねる中で延期に追い込む力になりました。今当面している問題で一緒に共闘できる状況が本当にあることを選挙で示していきたいと思っています。

**ふなやま** 昨年の仙台市議選では野党候補が同じ壇上に上がった。「良い政治を作りたい」という思いは同じ。総選挙ではさらに野党共闘の前進をきずきたいと思っています。

## 東北初の2議席へ

**ふなやま** 今度こそ安倍政権を退場させ、「政治に正義を、暮らしに希望を」——個人の尊厳が守り生かされる世の中を作るために2議席へ頑張っていきたいと思います。

**高橋** 今、共産党を除くという壁は崩れましたが、日本共産党自身ももっと大きくなる共闘を前に進めるためにも本場に必要です。東北の2議席実現と野党の拠り所となる大きな日本共産党を作り、安倍政権に退陣を迫ってゆくために頑張ります。